

## 寺の願い

匠 探訪

192

中央地区本町通りポケ  
ットパーク隣に石造の仏  
像がまつられています。  
「毎月八日、十二日の菓  
師如来の縁日に市が開か  
れた」との言い伝えにま  
つわる像で、八日市場の  
地名の由来に結び付くと  
考えられます。

1998(平成10)年  
8月8日に落成を祝い魂  
を込める落慶開眼があり  
ました。それ以前には写  
真(1955年頃)に見  
られるお堂がありました。



## 本町薬師如来

参照：八日市場市の沿革と人物

これを管理していた医王  
寺住職が1764(明和  
元)年10月に神社奉行所  
に差し出した願い書(下  
書き)を東照宮関係者が  
所蔵されていて、数年前  
に見せていただきました。

その内容は、同寺はも  
と真言宗・見徳寺の門徒  
寺院であったが、東叡山  
寛永寺(東京都台東区上  
野)天台僧正の勧めによ  
り天台宗に改宗した。そ  
して境内に東照大権現宮  
をまつり、天下泰平、武

運長久の祈  
禱も怠りな  
く続けてき  
た、とあり  
ます。

そして、  
毎年4月  
17日(徳川  
家康の命  
日)と9月  
17日には門  
前(見徳寺  
門前、現・  
万町)の農  
民に触れを

出し本寺(東栄寺)住職  
を招き行事を行ってきた。  
しかし、檀家は一軒もな  
く貧しい寺であるので宮  
(東照宮)の修復もでき  
かねないので、今後も続  
くようどうか幕府のご威  
光をいただきたい、と願  
い出ました。

この文書から、東照宮  
は医王寺が管理していた  
こと、年中行事は門前農  
民が関わったこと、そし  
て同寺が檀家を持たない  
祈願寺(草分け薬師に願  
いごとをする)だったこ  
となどが知られます。

見徳寺周辺の八日市場  
村本町、門前はおよそ4  
00年間の歴史の中で2  
度の大火から復興し、医  
王寺も再建を果たしてき  
ました。

医王寺跡には石造の薬  
師如来がまつられ、東照  
宮も変遷をたどり全国東  
照宮連合会に加盟し、「八  
日市場東照宮」として広  
く知られることになりま  
した。

(市文化財審議会委員・

依知川雅一)

閩秘書課広報広聴班

☎73・0080